

施政方針等について問う

ハード・ソフト面から手厚い施策を講じる



宮本 昭一 議員

定住対策をどう進めるのか

宮本議員

町長は施政方針の中で最優先に取り組むべき課題は、「若者の定住化対策」であると位置付け、ハード・ソフトの両面から手厚い施策を講じてま

若者が定住できる環境を整える

町長

限界集落をはじめとする自治公民館の振興策、農業・商工業の後継者対策、少子高齢化対策など、

若者が定住できる環境を整え、本町に住み、子どもを産み育ててもらうことが最も重要である。新年度予算案の中で、定住住宅取得補助制度に加え、光ブロードバンド整備事業、賃貸住宅家賃補助制度、中学3年生までの子ども医療費の無料化、地域おこし協力隊招致事業など一つひとつの施策を本町の定住促進策として周知し、効果的に進めたい。

公約は反映されているか

宮本議員

10項目の公約を掲げているが、予算上どのような反映されているか。

財源の見込みが立ちそうなものは予算化

町長

若者の定住促進対策や中学3年生までの医療費無料化など公約を実現するため、施策に取り組む時期や、財源の見込みが立つものについては新年度予算案として計上した以外のものは、諸条件が整い次第予算化したい。

総合案内窓口の設置の考えは

宮本議員

高齢化が進む中、いろんなことで訪ねてこられる庁舎の窓口は、行政サービスの中で大変重要な所である。総合案内窓口を設置する考えはないか。

設置は難しい

町長

職員による声かけや、窓口まで同行しての案内など、庁舎に入ってから

れた方々への気配りは常に行っており、行財政集中改革プランにより職員数の削減が進む中、事務も複雑化してきており、職員一人に係る負担も大きくなっている。このようなかから総合案内職員の育成、配置、総合窓口のスペースの確保など、総合的に判断して設置は難しい。



案内板の設置は

宮本議員

役場に来られた方々が、目につくような相談案内板等の表示を住民環境課のカウンターに設置できないか。

案内板は検討する

町長

今まで以上に窓口対応

が向上するように研修はもちろん、今後、案内板の設置は検討する。

畜産の現状をどうに捉えているか

宮本議員

畜産飼養農家の高齢化や上昇する濃厚飼料等により、子牛競り市頭数も減少してきている。本町の畜産も現状維持という面から考えた場合、どうしても飼養農家の高齢化は避けられないが、町長はこのような現状をどのように捉えているか。

減少に歯止めをかけるのは難しい

町長

高育種価牛導入保留事業・高齢者畜産奨励金・家畜伝染病防疫対策事業等さまざまな対策を講じてきたが、高齢化による畜産農家の減少に歯止めをかけるのは難しい。

基準値の見直しは

宮本議員

高育種価事業は4年目

を迎えるが、導入・保留が思わしくないのは、T P Pの行方や飼養農家の高齢化もあると思う。現在は、導入・保留で基準値として、枝肉重量の形質が「A」以上、脂肪交雑の形質が「H」以上となっており、基準も影響していると思う。これの見直しの考えはないか。

見直しを検討

町長

現在市場での導入・保留の種雄牛の産子が、本町で設定している育種価の条件で、クリアできる該当牛が少ないことから、育種価の基準の見直しを検討したい。

